

## 9月定例記者会見 会見録

令和5年(2023年)9月8日(金) 11:00~11:25 庁議室

### 質疑応答

■つくば市再生可能エネルギー発電設備の適正な設置及び管理に関する条例(案)について

#### 記者A

直接ではなく関連する質問ですが、つくば市では将来的に何%位を再生可能エネルギーで賄う目標を立てているのですか。

#### 市長

基本的に二酸化炭素排出量は2050年までに実質ゼロを目指しています。再生可能エネルギーに絞った目標値については現時点ではありません。エリアによっては、再生可能エネルギーで100%賄うことを目指す提案等を環境省へ行っていますので、それらの方向性が見えてくれば、より具体的にご紹介できると思います。

#### 環境政策課

市役所の計画値はありますが、市全域で何年までに何%賄うという計画値は持ち合わせておりません。

#### 記者A

民間企業での話になるのかもしれませんが、太陽光発電設備の廃棄が問題視されるようになり、今後は特にリサイクルの仕組みづくりが必要になると思います。これについて、どのように考えておられますか。

#### 市長

今回の条例にも、廃棄費用の積立について盛り込むべきかどうかの議論がありました。盛り込んで良かったのですが、実質的に国が積立を担保するような制度ができたので、そのまま放置されることは本来無くなっていくのではと考えています。再生可能エネルギーの推進はしていきたいと思っていますが、期限が過ぎたものをただ廃棄するのではネガティブ面が非常に大きくなってしまいますので、しっかりと対応していきたいと考えています。

## 記者B

おそらく県内の他自治体でも、同様の再生可能エネルギーに関する条例を制定しているところがあると思いますが、つくば市は何番目になるのでしょうか。また、他自治体の条例と比べて、内容に特徴があれば教えてください。

## 都市計画部

県内44市町村のうち、21市町村で制定していますので、22番目になります。そのうち、2市町では禁止区域を定めており、つくば市は3番目になります。また、これまで要綱やガイドラインで定めていた届出制度が今回の条例へ移行される形になります。

## 記者B

内容としては、これまでのガイドラインや要綱、条例を統合したということで、今回特段新しいものが加わった訳ではないという理解でよろしいですか。

## 都市計画部

これまで勧告や命令、公表等については明記していませんでしたが、今回新たに規定しました。また、住民への周知についても、要望があれば説明会等を開催しなければならない等の項目を追加しました。

## 記者C

現在つくば市では、太陽光発電の事業者が何社、あるいは何か所設置されていますか。また、今回の条例は、いつから施行することを念頭に進めているのかスケジュールを教えてください。

## 都市計画部

太陽光発電設備の設置件数は、今年3月末時点で2,676件です。

## 記者C

2,676か所に設置されているという意味でしょうか。

## 都市計画部

そうです。また、条例施行は来年4月を予定しているため、今年の12月議会に議案を

提出する予定です。

## ■台風13号の影響について

**記者A**

台風13号の被害状況を教えてください。

**市長**

随時リアルタイムで情報が入っています。現時点では倒木が3件あります。

**記者A**

被災者の受け入れ体制について教えてください。

**市長公室**

現時点では、土砂災害警戒区域に自主避難所の設置を検討しています。

## ■つくバスの不適正な運行について

**記者A**

運行ミスが繰り返されている状況につきまして、共同運行者であるつくば市として、何らかの対策や働きかけは行われていると思いますが、この現状についてどう考えていますか。

**市長**

この状況で良いとは全く思っておりませんし、利用者の皆様に色々と不安な思いを抱かせてしまっていることを、非常に申し訳なく思っています。これまでもお話していますが、関東鉄道が運行ミスの根絶委員会で、原因分析等をしています。市としても全てのバス停で現地確認をして、例えば運転手から見えにくいバス停は改善をする等、様々なことを行っています。今後は、関東鉄道が、つくバス車両に対し音声補助システムを導入するといったハード面での対策も取り入れながら、できるだけヒューマンエラーを無くしていくと伺っています。また、運行ミスの多発を受け、関東鉄道が運転手等への教育計画の策定及び実施を外部の交通リスクコンサルタント会社に業務委託したとのこと。まだ外部教育が始まって1か月で、ハード面での対策も今月

末から行っていくという状況ですが、一定程度の効果が出るのではないかと期待をしています。ソフトとハードの両面で随時、市としても意見を言いながら、ミス根絶に向けて関東鉄道とともに進んでいきたいと思っております。

### **記者C**

運行ミスは、つくば市からばかり発表があるのですが、これはつくば市で多く発生しているのではなく、つくば市が厳しく全てを公表しているという理解で良いですか。

### **市長**

基本的に、何か起きたら隠さず全て公表するのがつくば市の方針です。ただ、公共交通に関しては件数も多いので、もう少しまとめて公表させていただきたいというご相談を記者の皆様にしたところ、却下されたと聞いています。運行本数が多いため、確率的に他自治体と比較して発表も多くなってしまうかとは思っています。

### **都市計画部**

他自治体がどれくらい公表をしているかについて把握はしていませんが、陸運局（関東運輸局茨城運輸支局）に伺ったところ、陸運局の行政処分の公表基準よりもつくば市の方がより厳しく公表を行っているという聞いています。

### **記者C**

つくば市というよりも、バス運行全体の問題という気がします。つくば市では、午後7時頃にプレスリリースが出されることが多いと思います。

### **市長**

もう少し早い時間に公表していきたいと思いますが、プレスリリースは、記者の皆さんの締切に間に合うよう広報部門もかなり努力をしています。一方で、全国的には運転手不足の問題があります。先日も、私が加盟しているMayors連合と、令和臨調との意見交換会で、運転手不足を地域で解決するためにライドシェアや免許の種類をどうしていくか等を考えていかなければいけないと提案しました。ただ、ミスをした企業を批判しても全く問題は解決しません。運転手不足の問題は、つくば市はまだましな方だと他自治体の首長と話をしていると感じていますが、国として、そろそろ本気でこの問題を考えていただきたいと思っております。

## ■気候市民会議つくば2023の開催について

### 記者D

第1回の会議開催の感想と、今後どのようなものを出していきたいのか教えてください。

### 市長

非常に活発な議論がなされていると思います。第1回の会議では、専門家である国立環境研究所や市役所職員から話題を提供し、それに対して質疑応答がありました。私も質疑応答でお答えしましたが、素朴な疑問から問題意識の高い質問まで様々な内容で、非常に前向きに議論をしていただき、ゲストの皆さんもそれを感じてくださっていました。気候変動対策について、市として本気で考えていくタイミングになっています。会議への参加の応諾率も非常に高く、通常の自治体では2.5%のところ、つくば市では11.4%近い方々が応じてくださっていて非常に心強く思っています。会議は全6回を予定しており、先日の第1回は導入部のような内容でしたので、今後、より具体的な提言にさせていただいて、それを全部実施するのがつくば市の基本的な方針です。これらのプロセス自体も非常に価値があると考えています。今後の展開が非常に楽しみな第1回の会議でした。

終了